

# KADOMA PHOTO NEWS



6月29日、リサイクルプラザで「第9回かどまエコフェスティバル～エンジョイ！デコ活～」が開催されました。参加者はボランティアスタッフをあわせて770人となり、多くの人でにぎわいました。

各種ワークショップやステージなどで、環境やエネルギーの大切さを体感でき、地球温暖化防止のために自分たちにできることを楽しく学ぶことができました。



5月23日、門真小学校5年生60人に認知症サポーター養成講座を実施しました。「困っている人がいたらどうする？」の質問に、児童たちからは「他の大人を呼んでくる」などの発言が聞こえ、認知症の方への対応方法を学ぶ、頼もしい姿が見られました。



かどま大学では、門真市出身の落語家、桂小春團治さんを講師に迎え、落語に登場する場所や出来事から大阪の歴史や文化を学ぶ連続講座「落語で学ぶ大阪の歴史」を開講しています。

7月14日は「親子茶屋」で大阪のお茶屋遊び花街などについて学びました。



枚方信用金庫門真東支店でNPO法人トイボックスが主催の「宿題カフェ」が開催されました。この日はNHK報道番組「おはよう関西」の取材があり、普段見慣れないカメラなどに子どもたちは緊張していましたが「勉強しないと」と真剣に宿題に取り組んでいました。見守りボランティアと楽しそうに話す子どもたちが印象的で「宿題を頑張ったらもらえるお菓子が楽しみ」「友達と宿題できるからうれしい」と笑顔で話してくれました。



6月26日、保健福祉センターで健康教育講座が開催されました。講話では、歯周病やオーラルフレイルの予防、糸ようじの正しい使い方など、お口にまつわる健康維持について知ることができ、日常から健康を意識する大切さを学ぶきっかけになりました。



6月22日、ルミエールホールで「第27回門真市吹奏楽フェスティバル」が開催されました。市内で活動する8団体、約300人の出演者による演奏に、800人を超える観客が来場。会場中から盛大な拍手が送られました。

フィナーレでは、門真市民吹奏楽団を中心に、出演団体の有志が加わった迫力ある合同演奏が披露され、華やかに締めくくられました。